

COMET

CAPA-2400Bi

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見
られるところに保管してください。



はじめに

このたびはCAPA-2400Biストロボ電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は定格入力電圧、AC100V／200Vを検知して自動的に切り換わるバイポルテージ機能を内蔵しています。

さらに、当社独自の調光方式によってFULL～1／128までを1／10EVステップで安定した出力と安定した色温度を得ることができます。そのうえ、出力を変えずに色温度を微調整する機能と出力を変えずに閃光時間を切り換える機能をそなえています。

また、機能はシンプルに徹し、出力表示を大きくするなど撮影現場での操作性、視認性を重視したプロフェッショナル専用機です。

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご使用ください。

付属品

●ACコード	5m	1本
●ホーンジャックタイプシンクロコード	(5m)	1本
●ヒューズ	100Vの場合	ストロボ用 20A 2本／モデリングランプ用 7A 1本
	200Vの場合	ストロボ用 12A 2本／モデリングランプ用 7A 1本
●取扱説明書	1
●保証書	1
●ご愛用者登録カード	1

目次

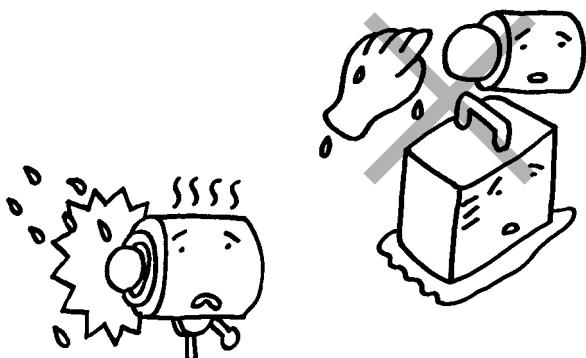
1.安全のため特にご注意ください	2~3
2.使用上のご注意とお願い	4~5
3.各部の名称とはたらき	6~7
4.操作手順	8~9
5.出力バリエーターと出力表示	10
6.スピード／カラーと表示ランプ	10
7.モデリングランプモードスイッチ	11
8.サウンドスイッチ	11
9.フォトセルスイッチ	12
10.過熱警報	12
11.不発光警報	13
12.充電異常警報	13
13.ヒューズ切れ表示とヒューズ交換	14
14.寸法図	15
15.保証とアフターサービス	16
16.仕様	17

1 安全のため特にご注意ください

■電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険ですので取扱には十分注意をしてください。

■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。感電事故や漏電、また故障の原因となります。

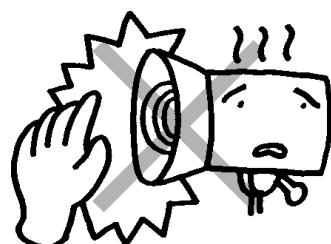
■使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



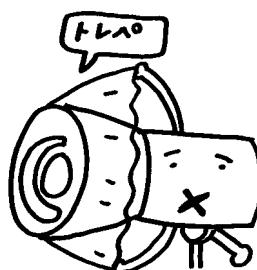
■ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。火傷や火災の原因となります。



■ヘッドは使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。火傷の恐れがありますので十分温度が下がってから取り扱ってください。



■使用中のヘッドは、高温になります。紙や布または樹脂系のシートなど可燃性のものを近づけたり、覆わないでください。火災や故障の原因となります。

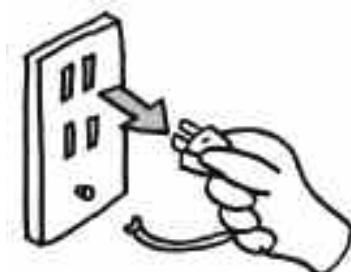


1 安全のため特にご注意ください

■落としたり衝撃が加わったときは、外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。そのまでの使用は避け、弊社またはご購入店で点検を受けてください。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



■使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



■ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



■感電防止のため、必ずアース(接地)してください。

■放熱のためストロボ電源部をケースに入れたままや、ビニールシートで覆っての使用はしないでください。火災や故障の原因となります。



2 使用上のご注意とお願ひ

■本機の定格入力電圧はAC100V／200V±10% (50／60Hz)です。

定格入力電圧以外での使用は故障の原因となります。



■サイリスタやトライアックを使用した半導体式調光器を介しての使用は故障の原因となります。

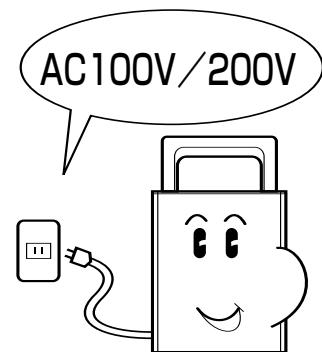
■本機はCAX-32Hヘッドを専用ヘッドとして設計されております。正確な色温度を再現するためにCAX-32Hヘッドをご使用ください。

■CAX-32H以外のヘッドを使用するときは、最大定格入力に注意してください。

定格の合わないヘッドの使用は、故障の原因となるだけではなく大変危険です。

■本機でバイチューブヘッド、レクトヘッド、CX-104ヘッドの使用はしないでください。

電源部を壊す恐れがあります。



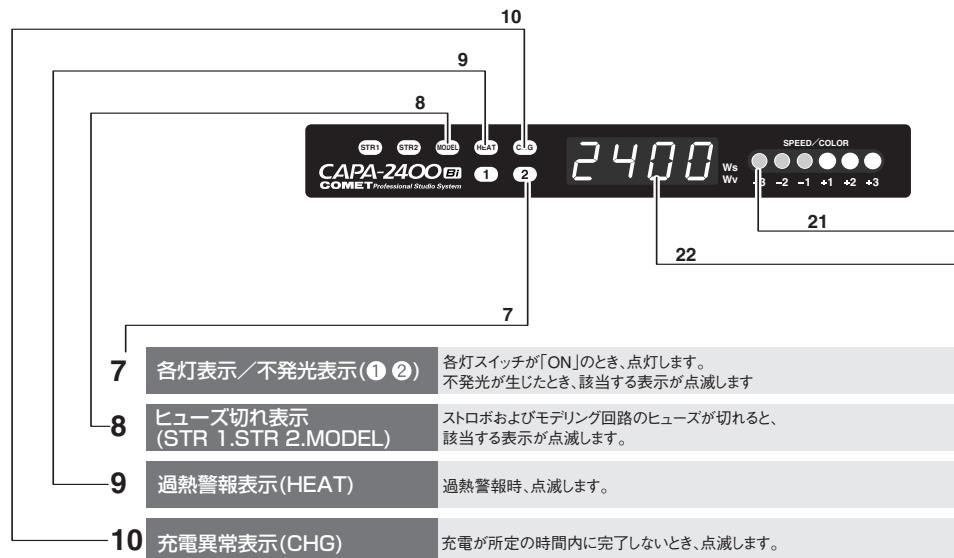
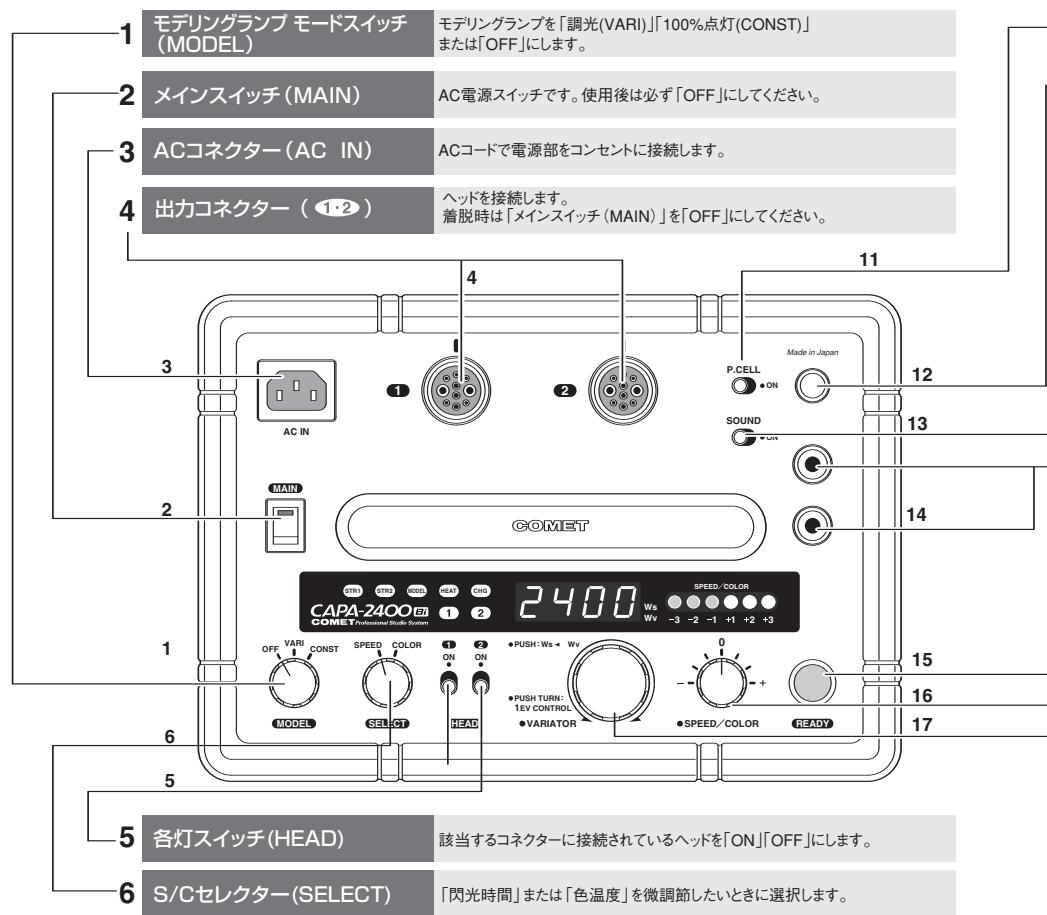
■種類の異なるヘッドを組み合わせて使用することは避けてください。光量が不安定になったり、不発光になることがあります。

■モデリングランプはストロボ電源部、ヘッドそれぞれの定格以内で使用してください。定格以上のランプの使用は故障の原因となります。

- モデリングランプ、キセノン管には素手でふれないようにしてください。
指紋などがついたまま使用すると、その部分が白濁して光量低下や寿命が短くなることがあります。
もし指紋が付着したときは、無水アルコールなどで拭き取ってください。
- ストロボ電源部は使用されないときでも1カ月に1~2度は必ず出力をFULLにして通電してください。
特に3~6カ月間にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電してください。
その間は絶対に発光をさせないでください。
長時間使用していなかったストロボ電源部はそのまま発光をくり返すと、コンデンサーが発熱して、破損することがあります。
- 赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(当社製)を使用するときは、各々のストロボ電源部に受信器をセットしてください。
このときすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。
赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき

CAPA-2400Bi 各部の名称



③ 各部名称とはたらき

11 フォトセルスイッチ (P.CELL) 他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。

12 フォトセル 他のストロボ光を受けて同調発光させるときの受光部です。

13 サウンドスイッチ (SOUND) 「充電完了音」が必要なとき「ON」にします。

14 シンクロソケット (CRタイプ) CRシンクロコード(ホーンジャックタイプ)でカメラと接続します。

15 レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチ 充電が完了すると点灯します。
点灯している部分を軽く押すと発光します。

16 S/C微調ダイヤル (SPEED/COLOR) S/Cセレクター(SELECT)で選択した「閃光時間」または
「色温度」を微調整します。

**17 出力バリエーター(VARIATOR)
出力表示切換(Ws/Wv)** 出力を「FULLから1/128」まで調光します。
ダイヤルを廻すと1/10EVステップで調光します。
ダイヤルを押し込みながら廻すと1EVステップで調光します。
ダイヤルを軽く押すと出力表示がワットセコンド(Ws)表示、
ワットパリュー(Wv)表示の選択ができます。

18 モデリングランプ ヒューズ (MODEL) モデリング回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。

19 ストロボ ヒューズ (STROBE 1/2) ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。

20 把手 把手上部のカバーを外すと、スペアヒューズが入っています。

18

19

20



MODEL STROBE 2 STROBE 1

100V 7A ————— 20A ————— 20A
200V 7A ————— 12A ————— 12A



21 S/C微調整表示(-3~+3) S/C微調整ダイヤルで選択した、微調整ステップを表示します。
調光位置で制限のある所は表示が点灯しません。

22 出力表示(Ws/Wv) 出力をワットセコンド(Ws)またはワットパリュー(Wv)で表示します。

4 操作手順

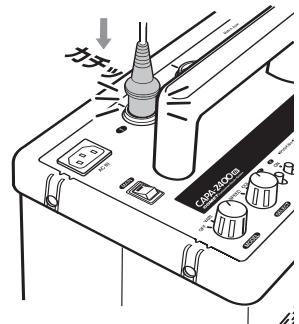
1 ヘッドコードをストロボ電源部に接続します

ヘッドコードをストロボ電源部の出力コネクターに接続してください。

"カチッ"と音がするまで十分に差し込んでください。
使用するヘッドのスイッチを「ON」にする。

【ご注意】

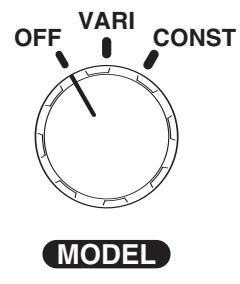
- ・コネクターを確実に差し込んでください。差込が不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターがショートし、発火の恐れがあります。また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ(MAIN)を必ず「OFF」にしてください。



2 モデリングランプの点灯モードを選択します

モデリングランプモードスイッチ(MODEL)でモ
デリングランプの点灯モードを選択してください。

▶ 詳細は11ページをご参照ください。



MODEL

3 ACコードを電源部に接続します

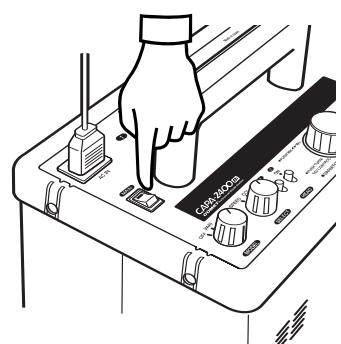
電源部のメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にしてから、ACコードをACコネクター(AC IN)へ接続してください。

その後ACプラグをコンセントに差し込みます。

4 メインスイッチを「ON」にします

電源部のメインスイッチ(MAIN)を「ON」にしてください。

"ピー"と鳴って、すべての表示が一度点灯してから充電が始まります。



5 充電の完了

充電が完了すると、レディーランプ(テスト発光スイッチ)が点灯し、発光準備が完了します。



ランプ消灯中は充電中 ランプ点灯で充電完了

6 テスト発光をします

テスト発光スイッチ(READY)を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

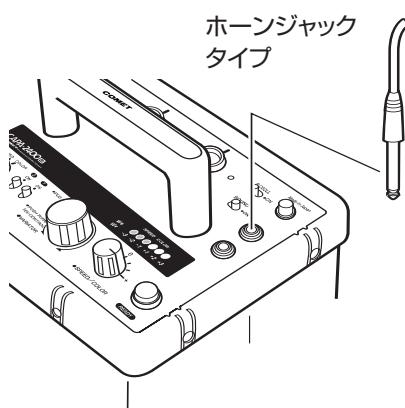
7 カメラとのシンクロを確認します

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをしてください。

●本番撮影をされる前に、実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ(同調)テストをされることをお奨めします。

【ご注意】

- ・カメラ、レンズにM／X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- ・フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用するときは、シャッター速度を1/60～1/30秒で使用してください。



5 出力バリエーターと出力表示

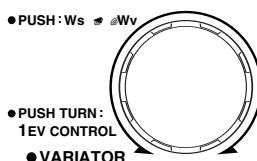
出力バリエーターは、ストロボ出力をFULL～1/128まで、ダイヤルを廻すと1/10EVステップ又は、ダイヤルを押込みながら廻すと1EVステップで調光し、出力値はLEDランプで表示します。ダイヤルを軽く押すことにより出力表示をワットセコンド(Ws)とワットバリュー(Wv)の選択ができます。

ストロボ電源部1台にヘッド2灯を接続したときは、1灯当たりの出力は表示された数値の1/2の明るさになります。モデリングランプモードスイッチ(MODEL)が「VARI(調光)」のときは連動してモデリングランプの明るさも調光します。

■出力表示切換え(Ws／Wv)

ストロボの電気エネルギー量 [Ws:ワットセコンド] を表す数値(2400～19)と、これを簡易指数 [Wv:ワットバリュー] に置き換えた数値(10.0～3.0)に切り換えて表示することができます。

・本機は最大出力2400Wsを10.0Wv
最小出力19Wsを3.0Wvとっています。
調光量は1/10ステップで変化します
から0.1Wvにあたります。

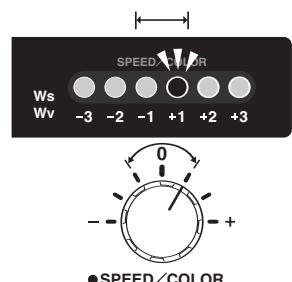


調光操作で出力を下げた場合又は色温度や閃光スピードを下げた場合には出力表示が点滅します。テスト発光スイッチを押し、一度発光させてください。充電が完了すると設定された出力光になります。

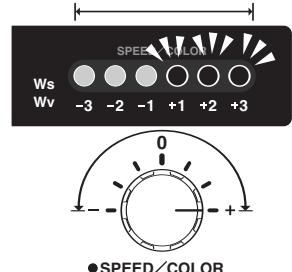
6 スピード／カラーと表示ランプ

(1) スピード・モードの場合は-1～+1までが可変範囲です。

それを越えてスイッチを操作しても切り換わりません。
又、出力によってはスイッチを操作しても切り換わりません。



(2) カラー・モードの場合は-3～+3までが可変範囲ですが、出力によってはスイッチを操作しても切り換わりません。



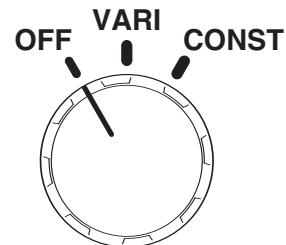
7 モデリングランプモードスイッチ

モデリングランプモードスイッチ(MODEL)は、モデリングランプ点灯モードを「VARI(調光)」、「CONST(100%)」に選択します。

■VARIモード

出力バリエーターで設定した光量と接続されたヘッドの灯数により、ストロボ出力2400Ws～75Wsの5EVに対応した明るさになります。(75Ws～19Wsまでは75Wsに対応した光量となります。)

ストロボ電源部1台にヘッドを2灯接続したときはモデリングランプの明るさが1灯のときの1/2の明るさになります。



■CONSTモード

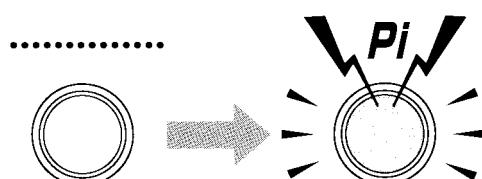
出力バリエーターおよび出力灯数に関係なく、モデリングランプは100%の明るさで点灯します。

8 サウンドスイッチ

■ON

充電完了音が必要なときは「ON」にしてください。

- 警報音はサウンドスイッチの「ON／OFF」に関係なく鳴ります。
(過熱警報は警報音が鳴りません)

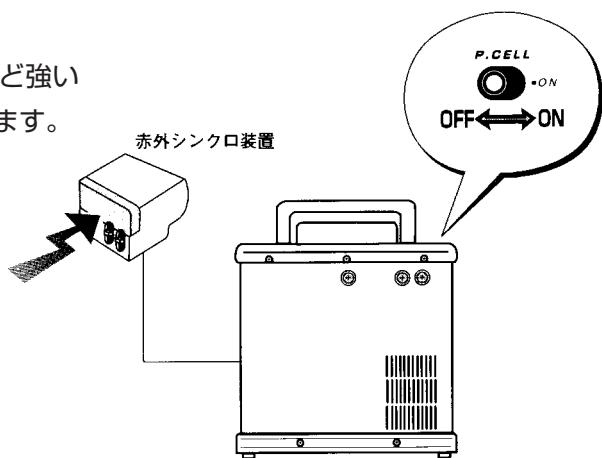


9 フォトセルスイッチ

他のストロボ光を受けて同調発光させるとき、スイッチを「ON」にしてください。

【ご注意】

- ・赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- ・フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると同調しないことがあります。



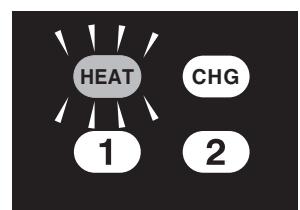
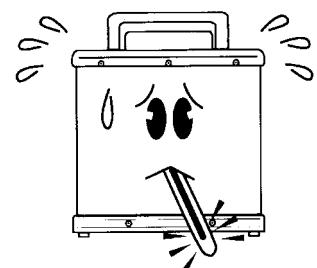
10 過熱警報

長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度を超えたときは、過熱警報(HEAT)表示が点滅し、警報音が鳴ります。

このときはなるべく早く使用を中止してください。一旦メインスイッチを「OFF」にし再びONすれば警報音は止まります。

冷却を早めるためにメインスイッチは「ON」のままで発光をさせずに放熱してください。

ストロボ電源部内の温度が所定の温度以下になると過熱警報(HEAT)表示が消えて使用できる状態になるますが、完全に内部温度が下がったわけではありませんので、連続発光は避けてください。



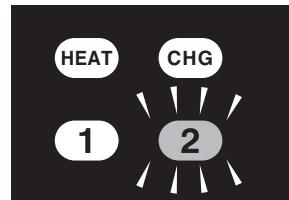
11 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないときはブザーが鳴り、該当する不発光警報(①～②)表示が点滅して、どの出力コネクターに接続されたヘッドに不発光が生じたかを知らせます。

- 警報音はサウンドスイッチの「ON／OFF」に関係なく鳴ります。
- 充電完了前に発光操作を行ったときは、不発光警報(①～②)表示が点滅し、同時にブザーの連続音で知らせます。

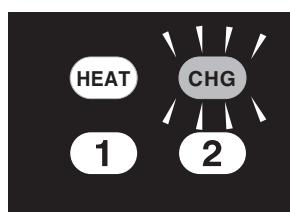
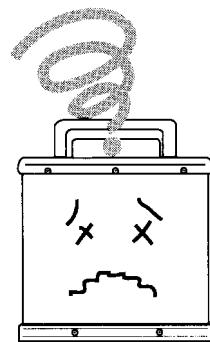
■警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後再び発光操作をして正常に発光すると自動的に解除されます。また、メインスイッチ(MAIN)を一旦「OFF」にしても解除できます。



12 充電異常警報

ストロボ電源部の充電が所定の時間内に完了しなかったときは、充電異常(CHG)表示が点滅してブザーの連続音で知らせます。このようなときは以後の充電が停止します。このような症状の時は内部の故障が考えられますから、速やかに使用を中止して点検、修理を受けてください。



- 点検・修理に出されるときは「保証とアフターサービス」15ページを参照してください。
- 警報音はサウンドスイッチの「ON／OFF」に関係なく鳴ります。

13 ヒューズ切れ表示とヒューズ交換

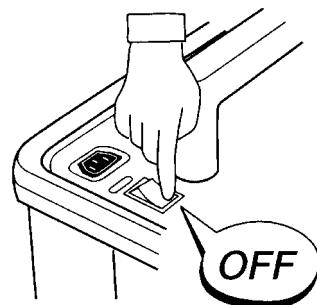
ヒューズが切れたときは該当するヒューズ切れ表示が点滅して、ブザーの連続音で知らせます。



●警報音はサウンドスイッチの「ON/OFF」に関係なく鳴ります。

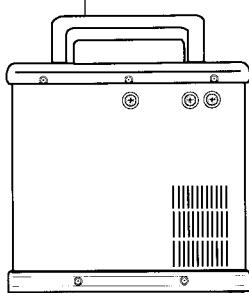
■ヒューズ交換は、メインスイッチ(MAIN)を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて、行ってください。

該当するヒューズホルダーの蓋を \oplus ドライバーで外し、断線したヒューズを同じ定格のヒューズと交換してください。

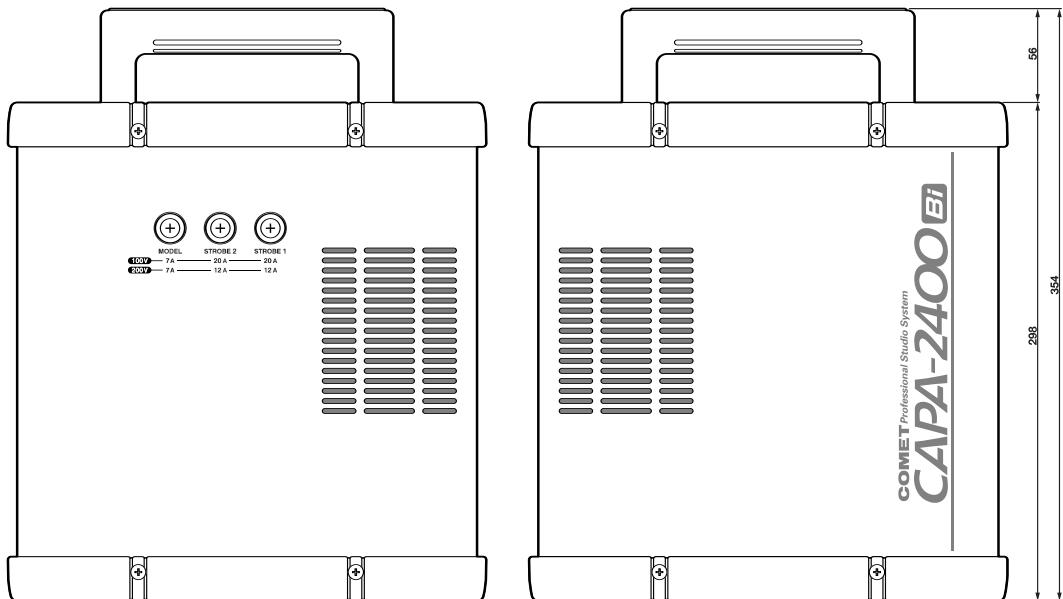
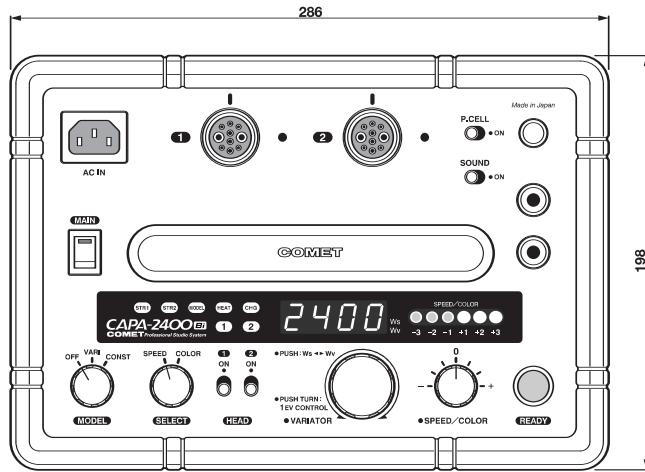


●予備のヒューズは把手の中に収納されています。
上部のカバーを \ominus ドライバーなどで開けてください。

スペアヒューズは把手の中に
収納されています。



14 寸法図



15 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならざり生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

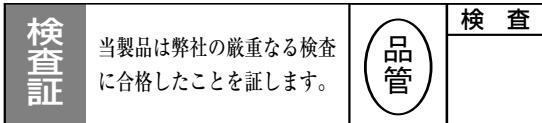
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

16 仕様

型 式	CAPA-2400Bi
最大出力	2400 Ws
灯数	2灯
出力コネクタ	CXコネクタ
定格電圧	自動切換：100V／200V ±10%、 50／60Hz
充電時間(カッコ内60Hz)	100V時2.5()秒、 200V時1.9()秒
使用ヒューズ	STROBE：100V時20A、200V時12A MODEL：7A
調光範囲	FULL～1／128、1／10絞りクリック
ストロボ調光方式	シリーズ・カット及び電圧調光の複合
色温度選択	100Kステップで±3ステップ
閃光時間選択	±1ステップのみ 最長1／200秒、最短1／19,000秒
モデリング容量	250W×2
モデリング調光モード	出力運動／コンスタント／OFF
出力表示	4桁LED表示
サウンドモード	完了音(READY)／OFF
シンクロコンセント	ファン・ジャック(12V)×2口
フォトセル	内蔵
不発光警報	各灯表示ランプ点滅と警報サウンド
過熱警報	ヒート・ランプ点滅と警報サウンド
ヒューズ切れ警報	該当ヒューズ切れランプ点滅と警報サウンド
冷却ファン	内蔵
寸 法(取手突起含まず)	286(W)×198(D)×298(H) mm
重 量	11.8 kg
備 考	各灯スイッチ有り ロータリー・エンコーダー使用 出力表示切換(Ws、Wv) 色温度、閃光時間の選択幅は調光位置により制約があります。

●本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

尚、この仕様は2004年8月現在のものです。



●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ!

愛情点検	こんな症状はありませんか	▶	このような症状のときは直ちに使用を中止し、ACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき 		

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。
取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。
- 上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8621	FAX.(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0805 札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488	FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25 サンエイハイム101	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1 桜通内山ビル1F	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-1667	FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0051 広島市中区江波西1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075	FAX.(082)293-0076
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254	FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8623	FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8622	FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3234-5081	FAX.(03)3234-1356
産業機器部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8692	FAX.(03)3264-8624